

# 理科教育センター便り

令和元年10月発行

発行者  
久留米市理科教育センター  
所長 松本 良一  
久留米市南1丁目8番1号  
(久留米市教育センター内)  
TEL (0942) 36-9777・9778  
FAX (0942) 35-9930

## 科学する心を育む「第72回久留米市理科作品展」開催

第72回久留米市理科作品展を去る8月31日(土)・9月1日(日)の両日、久留米工業大学体育館を会場に開催しました。

理科作品展は、夏休みを中心に子どもたちが実験や観察をした記録、創作物、採集物などを展示し、その努力を認めるとともに、児童生徒及び保護者・一般に広く公開し、児童生徒の「科学する心」を育て、久留米市の理科教育の振興に役立てることを目的に毎年開催しています。

理科作品の出品総数は729点。どの作品も熱心に粘り強く追究してまとめたり創ったりした作品で、児童生徒の頑張りや科学する心の育ちが窺われました。今年も多くの方においでいただき、盛会裏に終えることができました。

児童生徒の研究を指導していただいた先生方や保護者の皆様、そして、作品の搬入、会場設営、作品展示等で、理科作品展を支えてくださった理科教育センター委員の先生方に感謝いたします。



### □出品点数

研究物	600点
採集物	13点
創作物	116点
計	729点

### □来場者数

期日	来場者		計
	子ども	大人	
8月31日(土)	475名	531名	1,006名
9月1日(日)	702名	754名	1,456名
計	1,177名	1,285名	2,462名

## 同時開催 サイエンスフェア!

サイエンスフェアを同時開催し、福岡県青少年科学館と久留米工業大学によるサイエンスショーを行いました。

### 福岡県青少年科学館



液体窒素の中に入っている物を入れて、それらがどのように変化するかという実験や楽しい空気の科学マジック等を見せさせていただきました。

### 久留米工業大学



3Dプリンターで、樹脂などを空間に何層にも積み重ね、デジタルデータを立体造形物としてプリントしているところを見せさせていただきました。

### 来場者のアンケートから

- 一生懸命考えをまとめていて、分かりやすく書いてあるのはどれもすばらしかったです。
- 学年に応じた作品が多くあり感心しました。大人では、気づかない事でも子ども目線で見ると気づかされる事があり、はっとしました。
- サイエンスショーを子どもがとても楽しく見ていました。3Dプリンターを見ることができ楽しかったです。

## 「福岡県小・中学生科学研究作品展」推薦作品紹介

福岡県教育委員会では、児童生徒の理科・科学技術への興味・関心を高め、科学する心を育むために、「福岡県小・中学生科学研究作品展」を実施しています。県下の市町村から4点ずつが出品され審査されます。入賞した作品は、11月9日（土）・10日（日）に福岡県青少年科学館に展示され、10日（日）には、表彰式があります。

久留米市理科作品展に出品された作品の中から、特にすぐれている下記の4点を久留米市の代表として推薦しました。

（審査員：教育センター所長、理科教育センター運営委員・常任委員）

作品名	「トンボのなわばりの広さのけんきゅう」	御井小学校 2年 篠倉 颯祐
概要	トンボが同じところを飛んでいるのを観察し、飛んだ軌跡を地図に記録する。そして、パソコンで軌跡の距離を計算し、トンボのなわばりの広さのきまりを追究しています。	
作品名	「歯車自動演奏機」	山川小学校 6年 高野 渉聖
概要	田中 久重さんのように、あっと言ってしまうほどのからくりを作ってみたいという思いから、歯車が回ると、メロディベルの優しい音が鳴る楽器を製作しています。	
作品名	「夏休みの外とエアコンがついていない部屋はどっちが暑い？」	西国分小学校 4年 牛島 直香
概要	夏は、外より家の2階の部屋の方が暑いように感じた。そこで、ほんとうにそうなのか、6時から18時まで2時間ごとに2階の部屋と外の気温を計り、比べて確かめています。	
作品名	「アーチの強さにせまる！！」	牟田山中学校 1年 中島 玲
概要	熊本県の通潤橋を見に行っただけをきっかけに、アーチ橋の強度に興味をもった。そこで、発砲スチロールでアーチ橋を作り、レンガをのせたり自分ものってみたりして実験し、何キログラムまで耐えられるか確かめています。	

## 第7回「からくり儀右衛門大賞」（主催 文化財保護課）入賞作品紹介

「ものづくりのまち久留米」の次代を担う久留米市立小・中学校の児童生徒に、創作の喜びを体感することを促すために、「久留米市理科作品展」に出品された創作部門の作品の中から「からくり儀右衛門大賞」として、下記の作品が選ばれました。

【久留米市長賞】	「空カンつぶし機の製作」	宮ノ陣中 3年 八尋 智紀
【久留米市教育委員会教育長賞】	「ホバークラフト」	合川小 6年 森田 瑛博
【久留米工業大学賞 小学生の部】		
金賞	「円柱形の強さを調べる」	小森野小 5年 加藤 嵩琉
銀賞	「回転車の発電」	金丸小 3年 伊東 秀真
銅賞	「いとでんわのつたわりかた」	浮島小 1年 鐘ヶ江 利奈
特別賞	「モーターを作って動かしたい！！」	城島小 3年 菊池 琉希
【久留米工業大学賞 中学生の部】		
金賞	「人間の脳（計算能力・暗記能力）が最も活発に働くのは、どの時間帯か？」	江南中 3年 西山 慎之助
銀賞	「乾燥剤でドライフラワーを作る」	荒木中 2年 栗原 未羽
銅賞	「忘却曲線から考える最適な復習のタイミング」	明星中 2年 大坪 佑
特別賞	「海水からとれた塩とにがりを実験してみよう」	北野中 1年 高木 恋百

## 「2019 Dr. BUNBUN賞」（主催 Dr. BUNBUN実行委員会）受賞作品紹介

本年度から、久留米市理科作品展に出品された作品の中から、「医学や健康」をテーマにした作品で優秀なものにDr. BUNBUN賞が贈られます。その受賞作品を紹介します。

優秀賞	「人工臓器と義肢」	草野小 6年 黒木 惺琥
優秀賞	「人のねむりと脳の関係」	善導寺小 6年 池田 青空
特別賞	「生きるってすごい！」	南薫小 6年 藤井 眞子